



平成28年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年3月8日
東

上場会社名 クミアイ化学工業株式会社 上場取引所
 コード番号 4996 URL <http://www.kumiai-chem.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池好智
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 吉村 巧 (TEL) 03-3822-5036
 四半期報告書提出予定日 平成28年3月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成28年10月期第1四半期の連結業績 (平成27年11月1日～平成28年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年10月期第1四半期	16,410	5.4	1,190	4.5	1,691	△0.5	1,224	△24.2
27年10月期第1四半期	15,567	△4.8	1,139	△20.0	1,701	△1.5	1,614	35.7

(注) 包括利益 28年10月期第1四半期 △396百万円(-%) 27年10月期第1四半期 1,660百万円(△19.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
28年10月期第1四半期	円 銭 15.40	円 銭 —
27年10月期第1四半期	20.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
28年10月期第1四半期	百万円 90,143	百万円 55,680	% 58.0
27年10月期	85,089	56,787	62.8

(参考) 自己資本 28年10月期第1四半期 52,314百万円 27年10月期 53,401百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年10月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 8.00	円 銭 8.00
28年10月期	—	—	—	—	—
28年10月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年10月期の連結業績予想 (平成27年11月1日～平成28年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	43,800	13.2	4,000	13.2	5,300	18.7	4,000	24.7	50.33
通期	74,300	21.6	4,500	20.9	7,000	△13.2	5,200	△20.8	65.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年10月期1Q	86,977,709株	27年10月期	86,977,709株
28年10月期1Q	7,505,500株	27年10月期	7,505,338株
28年10月期1Q	79,472,242株	27年10月期1Q	79,917,314株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料の発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が明確な改善を続けており緩やかな増加基調はみられるものの、中国経済の構造調整に伴う成長鈍化の影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いております。

このような情勢のもと、当グループは、持続的成長の維持を重要方針とし、増収・増益を継続できる経営基盤の構築を図るべく、国内・海外とも自社開発品を中心に、マーケティング戦略に基づく普及、販売施策の実行や海外事業の拡大に取り組んでまいりました。

当グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は164億1千万円、前年同期比8億4千3百万円(5.4%)の増となりました。損益面につきましては、売上高が増加したことにより、営業利益は11億9千万円、前年同期比5千1百万円(4.5%)の増、経常利益は、為替の影響により、16億9千1百万円、前年同期比9百万円(0.5%)の減、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に計上した特別利益の影響により、12億2千4百万円、前年同期比3億9千1百万円(24.2%)の減となりました。

セグメントの概況につきましては以下の通りです。

セグメント	平成28年10月期 第1四半期		平成27年10月期 第1四半期		前年同期比	
	売上高	構成比	売上高	構成比	金額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
化学品	15,379	93.7	14,537	93.4	841	5.8
賃貸	58	0.4	57	0.4	1	1.1
その他	973	5.9	972	6.2	1	0.1
計	16,410	100.0	15,567	100.0	843	5.4

① 化学品セグメント

国内販売部門の農耕地分野では、水稲用除草剤「ピリミスルファン剤」、「トップガン剤」などの既存の主力製品の維持に取り組むとともに、新規に「フェノキサスルホン剤」を投入しましたが、他社競合剤の台頭による出荷減の影響などにより、水稲用除草剤全体では前年同期を下回りました。一方、水稲用箱処理剤は、イソチアニル及びサイアジピルを含む製品の販売が堅調に推移し前年同期を上回りました。また、園芸分野では、殺菌剤は前年同期並みを維持しましたが、殺虫剤は前年同期を下回りました。

非農耕地向け薬剤販売は在庫調整の影響で前年同期を下回りました。一方、受託加工は前年同期を上回りました。

以上の結果、国内販売全体の売上は前年同期を下回りました。

海外販売部門では、畑作用除草剤「アクシーブ(ピロキサスルホン)剤」の米国での販売が増加したことに加え、直播水稲用除草剤「ノミニー」の販売が東南アジアで増加したことなどから、前年同期を大きく上回りました。

上記の結果、化学品セグメントの売上高は153億7千9百万円、前年同期比8億4千1百万円(5.8%)の増、営業利益は12億3千8百万円、前年同期比5千1百万円(4.3%)の増となりました。

② 賃貸セグメント

賃貸セグメントの売上高は、引き続き保有資産の有効活用に努めた結果、5千8百万円(セグメント間の内部売上を含めた売上高は1億5百万円)、前年同期比1百万円(1.1%)の増、営業利益は6千6百万円、前年同期比1百万円(1.2%)の増となりました。

③ その他

流通事業、印刷事業、情報サービス事業、環境中の化学物質等計量事業及びメガソーラーによる売電収入などで構成されるその他は、流通事業では既存顧客の取引拡大と新規取引先の増加により、売上、利益ともに前年同期を上回りました。印刷事業では既存顧客への売上増加に加え経費削減に努めたことにより、売上、利益ともに前年同期を上回りました。一方、メガソーラー等による売電収入は天候不順の影響で売上、利益ともに前年同期を下回りました。以上の結果、その他全体の売上高は9億7千3百万円、前年同期比1百万円(0.1%)の増、営業利益は4千5百万円、前年同期比3百万円(5.5%)の減となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

財政状態の変動状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は901億4千3百万円で、前連結会計年度末に比べ50億5千5百万円の増となりました。これは主に受取手形及び売掛金並びに商品及び製品の増加が現金及び預金並びに投資有価証券の減少を上回ったことなどによるものです。

負債は344億6千4百万円で、前連結会計年度末に比べ61億6千2百万円の増となりました。これは主に支払手形及び買掛金並びに短期借入金が増加したことなどによるものです。

純資産は556億8千万円、自己資本比率は58.0%、1株当たり純資産は658円27銭となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成28年10月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想は、平成27年10月期の決算発表時(平成27年12月17日)の業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用について、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っています。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っています。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しています。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,742	6,480
受取手形及び売掛金	10,014	15,799
有価証券	645	645
商品及び製品	8,630	12,001
仕掛品	2,663	3,258
原材料及び貯蔵品	1,574	1,347
繰延税金資産	793	793
その他	862	1,312
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	34,918	41,631
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,789	3,999
機械装置及び運搬具（純額）	1,939	1,911
土地	6,413	6,413
建設仮勘定	188	—
その他（純額）	511	485
有形固定資産合計	12,839	12,808
無形固定資産		
投資その他の資産	272	279
投資有価証券	36,151	34,477
繰延税金資産	302	308
退職給付に係る資産	11	6
その他	595	635
投資その他の資産合計	37,060	35,426
固定資産合計	50,171	48,513
資産合計	85,089	90,143

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,296	16,327
短期借入金	3,580	5,580
未払金	1,787	1,370
未払法人税等	846	387
賞与引当金	639	245
その他	564	550
流動負債合計	17,712	24,459
固定負債		
長期借入金	5,650	5,550
繰延税金負債	1,686	1,347
役員退職慰労引当金	391	277
退職給付に係る負債	2,554	2,520
資産除去債務	36	37
その他	273	273
固定負債合計	10,590	10,004
負債合計	28,302	34,464
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,534	4,534
資本剰余金	5,033	5,033
利益剰余金	42,024	42,606
自己株式	△1,565	△1,565
株主資本合計	50,026	50,608
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,770	2,973
為替換算調整勘定	△89	△975
退職給付に係る調整累計額	△307	△292
その他の包括利益累計額合計	3,374	1,706
非支配株主持分	3,386	3,366
純資産合計	56,787	55,680
負債純資産合計	85,089	90,143

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年1月31日)
売上高	15,567	16,410
売上原価	12,299	12,916
売上総利益	3,268	3,494
販売費及び一般管理費	2,129	2,304
営業利益	1,139	1,190
営業外収益		
受取利息	16	16
受取配当金	126	51
持分法による投資利益	265	491
為替差益	134	—
その他	34	42
営業外収益合計	574	600
営業外費用		
支払利息	2	9
売上割引	5	5
為替差損	—	80
その他	5	4
営業外費用合計	12	98
経常利益	1,701	1,691
特別利益		
固定資産売却益	2	—
投資有価証券売却益	38	1
知的財産権譲渡益	883	—
特別利益合計	923	1
特別損失		
固定資産処分損	9	8
環境対策費	329	—
特別損失合計	338	8
税金等調整前四半期純利益	2,286	1,684
法人税等	607	404
四半期純利益	1,679	1,280
非支配株主に帰属する四半期純利益	65	56
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,614	1,224

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年1月31日)
四半期純利益	1,679	1,280
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33	△719
為替換算調整勘定	△16	19
退職給付に係る調整額	8	14
持分法適用会社に対する持分相当額	22	△990
その他の包括利益合計	△19	△1,676
四半期包括利益	1,660	△396
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,573	△445
非支配株主に係る四半期包括利益	87	49

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年11月1日至平成27年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円) (注)1	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注)3
	化学品 (百万円)	賃貸 (百万円)	計 (百万円)				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	14,537	57	14,595	972	15,567	—	15,567
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	48	48	362	410	△410	—
計	14,537	105	14,642	1,334	15,976	△410	15,567
セグメント利益	1,187	65	1,252	47	1,299	△160	1,139

(注) 1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種印刷物の製造販売事業、運送・倉庫事業、情報サービス事業、環境中の化学物質等計量事業、発電及び売電事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△160百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年11月1日至平成28年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円) (注)1	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注)3
	化学品 (百万円)	賃貸 (百万円)	計 (百万円)				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	15,379	58	15,437	973	16,410	—	16,410
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	47	47	381	427	△427	—
計	15,379	105	15,483	1,354	16,837	△427	16,410
セグメント利益	1,238	66	1,304	45	1,349	△159	1,190

(注) 1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種印刷物の製造販売事業、運送・倉庫事業、情報サービス事業、環境中の化学物質等計量事業、発電及び売電事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△159百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。